

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 28日

事業所名 放課後growのおと 谷町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○	0	療育スペースは広く、物の配置等安全面に配慮している	
	2	職員の配置数は適切である	○	0	通常の職員配置基準よりも多く職員を	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○	0	事業所内に段差は少ない	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○	0	朝礼、終礼を実施し、日々療育の振り返りを実施している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○	1		開所初年度のため、今回初めて自己評価 アンケートを実施
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している				今回の自己評価アンケートをホームページで公開予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	○	自己評価アンケートを実施	今回の自己評価アンケートの結果をもとにスタッフ間でミーティングを実施した
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	0	職員の研修を定期的に実施している	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○	0	アセスメントシートを作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	2	感覚面の評価等で標準化されたアセスメントツールを使用している	アセスメント結果をスタッフ間で共有していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	0	プログラム担当のスタッフを中心に相談して立案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	0	職員がローテーションでプログラムを立案しているため、内容が固定化されにくい	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○	1	余暇の活動内容も提案している。1日のスケジュールを提示している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○	0	お子様々々を評価し、支援計画を作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	0	日々朝礼で情報共有、療育の打ち合わせ等を実施している。また朝礼に参加できない職員に対して、療育の予定等を紙面で共有している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	0	日々終礼で情報共有、その日の療育の振り返りを実施している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	0	活動の記録にプログラムの様子等を記録している	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○	0	モニタリングは半年間に一度実施している		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○	0	就学前の準備、ライフスキルの獲得を目標に、プログラムで様々な活動を実施している		

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	0	児童発達支援管理責任者が主にサービス担当者会議に出席している。また相談支援事業所からモニタリングを受けている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	0	送迎時に小学校の先生と情報共有を実施している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				利用者に該当者不在
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			初年度のためこれから該当するお子様が出てくる。保護者様からの依頼があれば、園、小学校に情報提供を実施する。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				利用者に該当者が不在
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		保護者様から依頼があれば、他事業所との情報交換を行う	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	利用者が地域の小学校に通っている方が多く、日常生活で障がいのない子どもと交流ができています	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	区の子ども部会等に参加している	利用者がいる区の子ども部会等に参加していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際に療育の様子を伝えたり、保護者様から相談事があればお伺いしている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者研修を実施している	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際に、重要事項説明書に基づいて実施している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者研修を実施している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		職員間で情報共有をし対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		LINEやInstagram紙面にて療育の様子をお伝えしている	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の書類は、鍵付きの書庫で保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	相談支援事業所、幼稚園、保育園等にリーフレットをお渡しに行き、事業所の周知活動を実施している	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	各種マニュアルを作成している。緊急時の対応、防災対策、避難場所、感染症対策等については契約時に説明をしている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	防災訓練を半年に一度実施している。また防災訓練の様子を、当日参加していない利用者の保護者様に対してもLINEにて報告している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待防止、人権について等の研修を実施している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	身体拘束についての説明を契約の際に実施し、保護者様に同意書に記載してもらっている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	フェイスシートを保護者様に記載してもらい、アレルギー等の注意事項を把握している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ひやりはっと、事故報告書にて記録を取り、今後の対策を検討している	